# 施策7

子どもの健全育成

(全 10 事務事業)

# 施策7.子どもの健全育成

## ● 施策評価表

● 事務事業評価表		掲載開始 ページ
1. 中高生世代の居場所づくり事業	(子育て支援課)	7-1
2. 中高生世代の居場所維持管理事業	(子育て支援課)	7-3
3. 地域子ども教室支援事業	(子育て支援課)	7-5
4. 青少年非行防止支援事業	(社会教育課)	7-7
5. 青少年育成団体活動支援事業	(社会教育課)	7-9
6. 子ども会育成会連絡協議会活動支援事業	(社会教育課)	7-11
7. 子ども読書活動推進事業	(社会教育課)	7-13
8. 子どもの運動能力向上講習会開催事業	(社会教育課)	7-15
9. ブックスタート事業	(社会教育課)	7-17
10. 生涯学習館ジュニア講座開催事業	(社会教育課)	7-19

	施策評	平価表 (事業実施年度:令和 04 年度)	前期基本計画期間 《令和3年度~7年度》				
体総合計	基本目標	2. 子どもの笑顔があふれるまち	施策統括課社会教育課				
計 系画	施策	7. 子どもの健全育成	関係課子育で支援課				

1. 施策の成果指標の達成度

成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位	基準値 目標の方向性	R4目標値 R4実績値	実績値の年次推移	判定
町の行事や地域の活動、サークル活動 などに参加した子どもの割合【総合戦		73.5	73.5	80 % 目標値 △ 実績値 ● 70	
施策全体	%	$\rightarrow$	53.8	50 50 40 基準値 R3 R4 R5 R6 R7	С
青少年育成団体に所属する子どもの		804	804	900人 目標値 △ 実績値 ● 800 ● 804 △	
人数	人	$\rightarrow$	560	700 600 500 基準値 R3 R4 R5 R6 R7	С

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

# 2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

7-1 子どもの居場所をつくる	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	7 卒 ナ 士 採 钿
子どもの居場所づくり 16 位 / 47 位	丁月(又抜味

_								
	町が取り組むべきこと①	子どもにとって気軽に訪れることのできる遊び場や自分らしく安心して過ごせる居場所となるよう、公園や公民館、図書館などの身近な施設を充実させます。						
	主な取り組み状況	・中高生世代の子どもの居場所「リリーフ」を坂瀬共同利用室に設置し、自分らしく安心して過ごせる居場所の提供を行った。						
	課題	・新型コロナウイルスの影響で利用制限を行ったため、コロナ禍前に比べ「リリーフ」の利用者数は減少している。						
	R6年度取り組み方針	・子どもの居場所「リリーフ」の周知を図り、中高生世代の子ども達が気軽に利用できる居場所の提供を行う。						
	町が取り組むべきこと②	放課後や学校の長期休業中に安全で安心して活動できる居場所を確保し、多様な体験や活動を選択できる環境をつくります。						
	主な取り組み状況	・「リリーフ」の運営をNPO法人スペースdeGUN²に委託し、子どもたちの居場所として毎日13時から18時まで開所した。 ・NPO法人スペースdeGUN²は子どもたちの学習サポートを行ったり、多様な体験活動を行ったり、相談を受けるなど必要な支援を行った。						
	課題	・新型コロナウイルスの影響で、飲食を伴う講座が実施できない。						
	R6年度取り組み方針	・新型コロナウィルスの影響で制限されていた多様な活動を再開する。 ・子どもの健全育成や学習支援など放課後や学校の長期休業中の居場所となる事業について引き続き実施するとともに、多様な主体による活動を推進する。						
	町が取り組むべきことの達成状況							
	□ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている							
[·	□ 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない							
	] 町が取り組むべきことを実施でき	ず、成果があがっていない						
	•							

# 施策7

	構成する事務事業(評価対象事業のみ)										
		事務事業名			事務事業許	平価(転記)			於	<b>西策評価</b>	
番号		事務事業の概要	(n-m- )		事業費(千円) R3 I R4 I R5			優先	施策評価		
			経費区分	R3			今後の 方向性	度	での方向性		
		担当課	会計区分	特定財源	<u>決算</u> 0	決算 0	予算			D	
中高生世代の居場所づくり事				一般財源	5,404	5,449	0 5,492	D	1 -	D D	
	由学生から	 18歳までの子どもが安心して心や	休を休めた	13.47.5.11.2				成果·費			
1	り、話をした	<del>-</del> りなど活動できる場として、坂瀬:	は同利用施設	合計	5,404	5,449	5,492	用とも	$\odot$	成果·費用	
	に「リリーフ	'」を設置、運営する。		(内 会計年度任用職員人件費)				維持		とも維持	
		子育て支援課	一般会計		0.07	0.12	0.10				
	由宣	生世代の居場所維持管	<b>押</b> 車業	特定財源	0	1	0	D		D	
	TIE	工匠1007旧物///旅门目	生事未	一般財源	353	1,942	331				
2		代の居場所をして開放している坂瀬共同利用施設 な心して利用できるよう、維持管理を行う。		合計	353	1,943	331	成果・費 用とも	-	成果・費用 とも維持	
	で女主(女		(内 会計年度任用職員人件費)						○ ○址14		
_		子育て支援課	一般会計		0.11	0.07	0.15				
			町が取	り組むべきことを構成	なする事業の	方向性					
	ビルド	新規事業の方向性や内容	なし								
		拡充事業の方向性や内容									
_	ンクラップ	廃止事業の方向性や内容									
		縮小事業の方向性や内容	向性や内容 なし								
	R6年度の町が取り組むべきことの方向性										

7-2 子どもの健全育成を推進する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	<b>计</b> 个数
子どもの健全育成 8 位 / 32 位	<b>社 本                                   </b>

町が取り組むべきこと①	学校、地域、関係団体と情報を共有し、青少年の非行を未然に防ぐ活動を推進します。
主な取り組み状況	・青少年問題協議会の開催や青少年指導員の委嘱、少年補導員活動への補助金交付など、青少年非行防止への取組を支援した。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・引き続き、青少年非行防止への取組を支援する。
町が取り組むべきこと②	子ども会育成会連絡協議会 を通じて、地域の子ども会や育成会の活動を支援し、子どもの地域活動を充実させます。
主な取り組み状況	・子ども会育成会についてはその運営費の補助を行い、その活動を支援した。
課題	・地域の子ども会に加入している子どもが減少している。
R6年度取り組み方針	・引き続き、子ども会育成会連絡協議会を通じた活動を支援し、子どもの地域活動の充実を図る。
町が取り組むべきこと③	子どもたちの豊かな人間性を育むため、多様な体験活動を経験できる体制を整備し、体験活動の機会を増加させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・地域こども教室や生涯学習ジュニア講座などは、新型コロナ感染拡大等に注視しながら縮小して開催した。 ・平日の放課後、学校施設の運動場や体育館などをジュニア団体に貸出を行った。 ・青少年が所属する文化・スポーツ団体に補助金を交付することでその活動を支援し、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会を確保した。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・引き続き、地域こども教室や生涯学習ジュニア講座を開催する。また、青少年育成団体への支援を行う。
町が取り組むべきこと④	おはなし会を通して子どもたちに読書の楽しさを伝え、コミュニケーションを図る力や人を思いやる心を育むことで子どもたちが生きる力を身につけて健やかに成長するよう、本にふれあう機会を提供します。
主な取り組み状況	・おはなし会やイベントを実施し、子どもや保護者に対して本に親しむ楽しさや重要性を伝えた。 ・子どもが興味を持つような特設コーナーを設置し、ホームページ等で情報発信した。 ・ブックスタート事業として、10ケ月児相談対象者に絵本と子育てに関するリーフレットを配付した。
課題	なし
R6年度取り組み方針	・引き続き、ホームページ、LINE、dボタン広報誌など、様々な手段で情報発信するとともに、幼稚園や学校など関係機関と連携して子どもに読書の楽しさを伝える。 ・継続しておはなし会の場所を確保し、参加しやすい環境を整えるとともに、保護者におはなし会への参加を促す。
町が取り組むべきことを実施し	町が取り組むべきことの達成状況 ほぼ目標どおりの成果をあげている
□ 町が取り組むべきことを実施した。 町が取り組むべきことを実施した。 町が取り組むべきことを実施でき	が、成果があがっていない

			<b>₹</b>	<b>構成する事務事業(評価</b>		)				
777		事務事業名			事務事業語			ı	挤	<b>施策評価</b>
番号		事務事業の概要	\ <u>\</u>	経費区分	R3	事業費(千円) R4	R5	今後の 方向性	優先 度	施策評価 での方向性
		担当課	会計区分	特定財源	<u>決算</u> 0	<u>決算</u> 0	<u>予算</u> 0	D	-	D
		地域子ども教室支援事	業	一般財源	390	3,225	4,096	_ <u></u>		D
1	地域子ども できるよう	教室運営委員会が円滑に地域子と 支援する。	ども教室を運営	合計	390	3,225	4,096	成果・費 用とも 維持	0	成果・費用 とも維持
		 子育て支援課	一般会計	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.19	0.28	0.13	业年1寸		
		青少年非行防止支援事		特定財源	66	66	66	D		D
		月ン十升11別止又1友手	*未	一般財源	229	274	346	4		
2	青少年問題 の取組を支	協議会や地域青少年指導員の青年 援する。	少年非行防止へ	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	295	340	412	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.10	0.08	0.10	1142173		
	書	少年育成団体活動支援	事業	特定財源	0	0	0	D		D
			イナベ	一般財源	1,175	1,184	1,500	出田 弗		
3	青少年の健 の活動を支	全育成のため、青少年が所属スホ 援する。	(一ツ、文化団体	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	1,175	1,184	1,500	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.10	0.09	0.09	11423.5		
	子ど‡.:	会育成会連絡協議会活動		特定財源	0	0	0	D		D
	,		3人)及于不	一般財源	134	300	300	出田 弗		
4	子ども会育 する。	「成会連絡協議会に補助金を交付し	<b>,</b> 活動を支援	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	134	300	300	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.10	0.09	0.09	小压17		
		子ども読書活動推進事		特定財源	0	0	0	D		D
		」この肌自治動に選手	·*	一般財源	82	7	159	# ##		
5	子どもが読書の意義や楽しさを知り、読書習慣が身に付くよう、子ども読書活動推進計画に沿った取組を行う。			<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	82	7	159	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.47	0.42	0.32			
	<b>ユ</b> ど‡.	の運動能力向上講習会		特定財源	0	0	0	D		D
	, _ 0	♥/注到形/川門工冊日ご	一般財源	4	3	85	# ##			
6	児童生徒の運動能力が向上するよう、講習会を開催する。			<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	4	3	85	5 成果・費 - 用とも 維持		成果・費用 とも維持
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.11	0.11	0.11	业年14		
		ブックスタート事業		特定財源	0	0	0	D		D
				一般財源	308	261	339			
7	絵本で親子 に絵本と情 はなし会を	のふれあいを深めるため、生後1년 報チラシの配付及び図書館ボラン 実施する。	Oが月の子ども /ティアによりお	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	308	261	339	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
		社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.20	0.23	0.13	114217		
	生涯	学習館ジュニア講座開		特定財源	0	0	0	D		D
				一般財源	0	831	879	出田. 要		
8	児童生徒が ることがで る。	「体験学習を通じて新たな地域、技 きるよう、土曜日や長期休暇時に	講座を開催す	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	0	831	879	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
	<u> </u>	社会教育課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.07	0.12	0.17	ن دعور.		
				り組むべきことを構成	なする事業の					
		新規事業の方向性や内容	なし							
	ビルド	拡充事業の方向性や内容	なし							
		廃止事業の方向性や内容	なし							
ス	クラップ	縮小事業の方向性や内容	なし							
	R6f	I   	との方向性	☑ 最優先 □ 優先 □ 維持						

#### 3. 施策の総括と今後の展開

施策の成果指標の達成度は「町の行事や地域の活動、サークル活動などに参加した子どもの割合」は目標値を達成していないが、増加に転じた。「青少年育成団体に所属する子どもの人数」は目標値に対して下降傾向にある。子どもたちをとり巻く環境が多様化しているため、施策の成果指標の達成度だけでは測りきれない部分もある。町としては今後も引き続き、青少年の健全育成や子どもの居場所づくりについて、支援する事業を継続して行い、地域と共に活動に取り組んでいく。

4	施策の	進行状況	ı
т.	カビンベマン		

_4. 旭束の進行状況	
目標に向かって順調に進んでいる	
目標に向かってある程度順調に進んでいる	
☑ 目標に向かってあまり進んでいない	
目標に向かって進んでいない	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業				事務事業コード	1107101
Ę	<b>事務事業名</b>		中高生世代の居場所づくり事業	ŧ	担当課	子育て支援課	担当係	子育て支援係
総体	施策	07	子どもの健全育成	予	会計	01 一般会計		
合	20214		3 2 3 3 7 6 2 1 1 1 3 4	算	款	03 民生費		
総合計画系	野い組み士針	7_1	子どもの居場所をつくる	科目	項	03 児童福祉費	Ì	
当 糸	4人の利用の人の下	7-1	子と 0の 占場所を 2へる	Ħ	Ш	06 子育て支援	事業費	
根挑	见法令条例等	志免	町子どもの権利条例	個	別計画			
実施	期間 🔲 04	<b>上年度</b> (	Dみ ☑単年度繰返 H 19 年度より開始	台		□期間限定(複数年	=) 年度∼	~ 年度

# 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

_		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦ 中学生から18歳までの子ども	人	3,053	3,020	3,079
事務事業	(誰を、何を) 	<u> </u>				
		0				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・安心して心や体を休めたり、話をしたりなど活動できる場がある				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	坂瀬共同利用施設を子ども(中学生から18歳まで)の居場所「リリーフ」で [12/28~1/4]を除く毎日、平日13時~19時、土日祝日10時~17時・NPO法人との委託契約、委託料支払い事務・活動報告内容のチェック等	を設置 )	、運営する	5(年末年	始

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	開所日数	<b>1</b>	日	目標	356	357	358	99.7%
'	/白刬	卅八   口女	l	Н	実績	358	356		99.170
1	成果	新規登録者数	<b>1</b>	,	目標	60	30	20	60.0%
-1	以木	机风豆蚁伯数	ı		実績	24	18		00.0%
ゥ	成果	来所人数(延べ)	<b>1</b>	,	目標	730	600	500	46.3%
	以木	木川八奴(延八)	l l		実績	563	278		40.576
エ	成果	複数回来所する登録者の割合	Λ.	%	目標	70.0	60.0	65.0	101.7%
	以木	(複数回来所者数/登録者数)	l	/0	実績	50.0	61.0		101.770
才					目標				
					実績				
カ					目標				
71					実績				

# (3)総事業費の推移

(3)	心书木	貝 リカ 田					_		
		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金		0	0	0	0		(1117)
事		受益者		0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	5,404	5,455	5,449	5,492		
費		合計(	A)	5,404	5,455	5,449	5,492	5,455	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	汾](B)	530	854	909	787		
		トータルコスト( <i>A</i>	() ( ()	5,934	6,309	6,358	6,279		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.07	0.11	0.12	0.10		

# (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成19年度より施行された「志免町子どもの権利条例」に、「町は居場所の確保と充実に努める」と規定されている。	なし	事業対象者から、「とても安心できる」「とても楽しい」などの意見がある。

2	分	析·	検証(Cl	<b>HECK</b>	()											
		iii	平価の視点	点			項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定						
	上位	立族	策への貢	献度		✓ 貢献度	要高い		中高生世代の子どもが安心して心や体を休めたり、話をしたりなど活動							
			業の成果が」				きふつう		できる場があることは、一人ひとりが互いに認めあい、年齢の違いなど							
	日指か)	93	どの実現に直	結してい	10		<b>運低い</b>		- に関わりなく誰もが安心して、いきいきと輝き暮らせるまちに直結す -   る。							
妥	意图	¥σ.	適切性			✓ ✓ 妥当で	ある		総合計画に町が取り組むべきことで「子どもの居場所をつくる」として							
71	(総合	計	画、町民の二	ーズ、法	令		·・ 余地が	<u></u> ある	おり、安全で安心して活動できる居場所を確保し、多様な活動ができる	3						
性	等にかり	対し	て、意図が通	歯切であ	る -	一検討の			- 場があるのは妥当である。	)						
			関与の必		_	✓ 妥当で			子どもの権利条例に、町は居場所の確保と充実に努めますと規定して							
						=	. <u></u> 余地が	<u></u> ある	おり妥当である。							
	(日)	514 、住	が主体で取ん 民参画の余り	担じべき	<del>事</del> か)	=	余地が									
$\vdash$	成月	₽σ	)向上余地					<u>多い</u> が得られている	┃ ┃年末年始を除き年間を通じて開館しており、居場所が必要な時に気軽							
			る成果を得ら			=			ー に利用することができているため期待する成果が得られている。							
	後期	待す	る成果をあ			=		地がややある								
	ある		いあれか			=		地が多い	  未就学児や小学生と比べて居場所が確保しづらい中高生世代の子ども							
有	'	象の適切性  「図面切である							本級子兄や小子主という(店場州が確保しつらい中高主世)(の子とも     を対象としており、適切である。	2						
郊州		意図を達成するうえで、現状の 対象設定が最も有効か、他に有 かな対象設定はないか)  一 改善の余地が多い								3						
l l	- 効な	対象	対象にはない	か)		=		多い								
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の 手段が最も有効か、他に有効な					<u>✓</u> 適切で			安心して心や体を休めたり、話をしたりできる場を年末年始を除き年間  を通じて運営しており、適切である。							
						=		ややある	と通じて建古しての人、過労である。							
		手段はないか) 業務の効率化				改善 <i>0</i> .	余地が	多い								
	業社	务().	)効率化			<u>√</u> 効率的	りである		町職員は契約や支払事務等のみであり効率的である。							
	(業産	新手順、関与職員人数につい □ 改善の余地がややある					余地が	ややある								
		•	の余地はな	-		改善の	余地が	多い								
效	」   投力	L⊐	ストの適t	<b>刃性</b>		✓適切で	ゔある		スタッフ配置や活動に必要な委託料と、光熱水費、電話料等施設の運営	3						
率		しす	るコストは適	正か、削	減	□ 改善Œ	余地が	ややある	に必要な経費であり適切である。							
性	の余	地は	はないか)			□ 改善Œ	余地が	多い								
	財派	京確	[保の適切	性		☑適切で	ある		中高生世代の子どもに居場所として開放している施設であり、受益者負							
	(受益	益者	負担は適正な	か、国、県	等	改善 <i>0</i> .	余地が	ややある	】担はなじまず、利用者の減少につながる。国・県の補助金で活用できる ■ものがあれば活用していく。							
	の補	助領	手はないか)			改善 <i>0</i> .	余地が	多い	ものがあれば石田のではへ。							
		<u> </u>			3	妥当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)							
				0点	1点	2点	3点	昨年度に引き	続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数や滞在時間の制限・	を設						
			いずれか0点	d	С	С	С		5イベントは見合わせるなど、注意を払いながら事業を実施した。 新規登録者数、東京者数は減少したものの、複数回東京は3周のが前午度	1- LL						
		_	7 7 1 10 0 0 0 11	u	۲				新規登録者数、来所者数は減少したものの、複数回来所する割合が前年度 ることから、子どもたちが安心して自由に過ごすことができる場の提供が <sup>・</sup>							
1	分	月 効	いずれか1点	С	С	С	С		3ととがら、」ともたらが文心して自由に過ごすととがてきる場のがに伝が  場所を必要としている志免町の中学生から18歳までの子どもたちに「リ」							
	析	f   催			С				デっていきたい。							
	· +	合計4点 C				b	b									
	検 証	効率 性	合計5点	С	b	b	а									
	行	性	ДРІОЛІ		_	~	ŭ									
:	果		合計6点	С	b	b a a										
			a	業務ある		容は適	切で									

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

Ť								成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				-	コストの	)方向性	Ē	
				皆減	縮小	維持	拡大	
			拡充		С	В	Α	
	今後	成果の方向性	維持		Е	D		
	今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
'	性		休廃止	G				
			)	成果	•費用	とも約	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1107102
Ę	事務事業名		中高生世代の居場所維持管理事業	旦当課	子育て支援課	担当係	子育て支援係	
総体合	施策	07	子どもの健全育成	予.算	会計款	01 一般会計 03 民生費		
総合計画 系	取り組み方針	7-1	子どもの居場所をつくる	科目	項目	03   児童福祉費   06   子育て支援		
根拠	见法令条例等	建築	」 基準法、消防法、志免町子どもの権利条例	偃	別計画	XIX H [ OU	· 子术只	
実施	期間 🔲 04	4年度の	Dみ ✓単年度繰返 H 19 年度より開始	4		□期間限定(複数年	+ 年度~	- 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (誰を、何を)	② 坂瀬共同利用施設	施設	1	1	1
事	(単色、円色)	<u> </u>				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・安全で安心して利用できるように管理される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	中高生世代の居場所として開放している施設の維持管理を行う・業務委託契約事務(機械警備、消防設備、AEDリース等)・修繕業務				

#### (2)指標達成状況

(4/1		7776							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	業務委託件数	1	件	目標 実績	3	3	3	100.0%
1	活動		<b>1</b>	———— 件	目標	1	2	2	100.0%
· ·					実績目標	0	2 1	0	
ウ	活動	工事件数	T	件	実績	0	1		100.0%
エ	成果	予定した維持管理業務の進行度	1	%	目標 実績	100 100	100 100	100	100.0%
才	成果	事故発生件数	<b>\</b>	件	目標	0	0	0	
					実績 目標	0	U		
カ					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位)	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特別	定財源	0	0	1	0		
未	費	一般則	才源	353	2,201	1,942	331		
費		合計(		353	2,201	1,943	331		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	汾](B)	837	910	523	1,166		
		トータルコスト(A	v)+(B)	1,190	3,111	2,467	1,497		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.11	0.12	0.07	0.15		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
坂瀬共同利用施設は昭和53年から地域の公民館として使用されてきたが、別の施設を公民館として使用することになった。そこで、子どもの権利条例(平成19年施行)に基づいた子どもの居場所として、平成19年から坂瀬共同利用施設を開放したことにより、維持管理事業を行うことになった。	なし	なし

2	分析	<b>沂·</b>	検証(Cl	<b>HEC</b>	()										
			平価の視点					項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
	上位	旋	策への貢	献度		<b>V</b>	貢献度	高い		中高生世代居場所として安全で安心して利用できるように管理される					
			業の成果が」 その実現に直				貢献度	ふつう		「ことは、一人ひとりが互いに認め合い、年齢の違いなどにかかわりな - ⟨、誰もが安心して、いきいきと輝き暮らせるまちに直結する。					
	か) か)	93	の天児に但	ポロし C C	19		貢献度	低い		- 1、誰もか女心して、いさいさと牌さ春りせるように世和する。					
妥	意図	<b>(</b> ]σ,	適切性			<b>\</b>	妥当で	ある		総合計画に町が取り組むべきことで「子どもの居場所をつくる」として					
当		計i	画、町民の二	一ズ、法	令	;	検討の	余地が	ある	おり、安心して安全に利用できるよう維持管理を行っているため妥当で	3				
性	等に3 か)	対し	て、意図が通	15切ぐめ	ර	<u></u>	検討の	余地が	多い	ある。					
		体	関与の必	要性		<b>V</b>	妥当で	ある		条例に定められている居場所であり、町の施設であるため妥当である。					
	(白治	: 体:	が主体で取締	日おべき	事	;	検討の	余地が		1					
	業か、	、住	民参画の余地	也はない	か)	$\overline{\Box}$	検討の	余地が	多い	1					
	成果	₹0,	)向上余地				期待す	る成果	が得られている	施設の維持管理に必要な業務委託を実施しており、継続して安全な状					
			る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	況が保たれているため期待する成果が得られている。					
	後期行		る成果をあ	げる余り	也が				地が多い	1					
有			適切性			] [	適切で		- 2,7 7	子どもの居場所として使用している町の施設であり、適切である。					
勃	(意図	[を	達成するうえ	はするうえで、現状の 一 改善の余地がやや					ややある		3				
	対象	設定 対象	が最も有効が、他に有 設定はないか) 改善の余地が多い							-	)				
	手段	段の適切性 図適切である							   施設の維持管理に必要な業務のみ委託し、管理しているため適切であ						
	(意図を達成するうえで、現状の 手段が最も有効か、他に有効な				意図を達成するうえで、現状の 一 改善の余地がも					a.   a.   a.   a.   a.   a.   a.   a.					
					=		余地が		<u> </u>						
		手段はないか) 業務の効率化				効率的		<i>5</i> 01	」  維持管理に必要な業務委託に係る業務のみのため、町職員が担う部分						
		務手順、関与職員人数につい							つかわるろ	は契約や支払事務等のみであり効率的である。					
	て見	直し	順、関ラ職員 の余地はな	ハ致にいか)	ノい	=				1					
効	投入	<sup>記</sup> しの赤泡はないが)								ー 施設の維持管理に最低限必要な経費のみのため、削減の余地がない。					
率			るコストは適		112-11				 ややある						
	の余り	地に	aコスドは週 tないか)	止い、月	11/9%	=		余地が		†	3				
	財源	稲	保の適切	性			適切で			活用できる国や県の補助金はない。					
	(巫光	ŧ <b>≠</b> ₁	負担は適正な	n	9 生				ややある						
			はないか)	八国、万	· · · ·	$\overline{\Box}$	改善の	余地が	多い	1					
		_				妥当				検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
				0点	1,	点	2点	3点		朽化しており、修繕の必要箇所は多々ある。業者によるとすべての問題箇済	听を				
			いずれか0点	d			С	_	完全に解決す	るには、全体的な修繕が必要とのこと。					
		_	0.34030///	u		_	C	С	応咒町公共施   ぬ 今年度は	設個別施設計画における坂瀬共同利用施設の改修は令和12年以降となる 、入口と施設の壁面に設置している電灯2か所の修繕と屋上の防水工事を	)に				
4	分	角 効	いずれか1点	С		:	С	С	た。	八口と肥政の至面に改直している电灯とが例の時代に住工の例が工事で	ا د دا				
1	斤值	性		1		<u></u>	la la	v							
1 *	· 食	· 合計4点 C 効			(	,	b	b							
	Î Î	率性	合計5点	С	k		b	а							
ź	結 社 合計6点 C				L										
=	₹		口目の出	C	L	)	a	a							
			a	業務ある		内容は適切で									

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

7,5					方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				ייוער	בוניו כל ל	E	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		E	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1107201
哥	<b>事務事業名</b>		地域子ども教室支援事業	1	担当課	子育て支援課	担当係	子育て支援係
総体	施策	07	子どもの健全育成	予	会計	01 一般会計		
合	NEX.	0,	] C 000度工内域	算	款	03   民生費		
総合 計画 系	野川組み七針	7_2	  子どもの健全育成を推進する	科目	項	03 児童福祉費		
曲 糸	4人の利益の人の一世	1-2	丁と 000 陸土自成を推進する	H	目	06 子育て支援	事業費	
根拠法令条例等			もの権利条例、志免町地域子ども教室事業補助 寸要綱	個	別計画			
実施	実施期間 □0		Dみ	台		□期間限定(複数年	年度~	4 年度

## 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	① <b>対象</b>	⑦ 志免町地域子ども教室運営委員会	団体	1	1	1
) 一	(誰を、何を)	① 小学校児童	人	3,025	2,986	2,957
事務事業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	·る				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地域子ども教室の開催について支援を行う ・補助金交付事務(運営委員会経費、各地域子ども教室実施経費) ・申請受付補助事務(申請受付窓口事務) ・開催に係る調整				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金交付件数	<b>^</b>	件	目標 実績	1	1	1	100.0%
,	刀到		ı	'   ' [		1	1		100.070
1	活動	申請受付数	<b>^</b>	,	目標	110	110	110	79.1%
1	/口到	中研文门数	ı	人	実績	未開催	87		7 9.1 70
ゥ	成果	地域子ども教室開催校区数	<b>1</b>	校区	目標	4	4	4	100.0%
	以木	地域するの教主制能仪と数	ı	TXIC	実績	未開催	4		100.076
エ	成果	地域子ども教室開催日数	<b>1</b>	日	目標	25	26	25	88.5%
	N.A.	地域 ] この教主制作口数	ı	Н	実績	未開催	23		00.570
才	成果	参加した児童数	<b>^</b>	,	目標	110	110	110	76.4%
~1	以木	参加のたえ	ı		実績	未開催	84		70.470
カ					目標				
//					実績				

# (3)総事業費の推移

(3)		貝の月色的							
		財源内訳(単位	· 十 田 )	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度
		的你们(羊瓜	. 113/	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)
		国·県支出金	s、地方債	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	390	4,000	3,225	4,096		
費		合計(	(A)	390	4,000	3,225	4,096		
	(内 会計年度任用職員人件費)								
		正職員人件費[按	汾](B)	1,423	2,535	2,149	1,008		
		トータルコスト( <i>A</i>	v)+(B)	1,813	6,535	5,374	5,104		
厚	関与職員数(単位:人) 正職員			0.19	0.33	0.28	0.13		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成15年度、国が打ち出した地域子ども教室推進事業(16年度開始)がきっかけとなった。	夏休み期間に子どもだけで参加できる活動	「夏休みだけでなく、春休みも開催してほしい」や、抽選で外れた子どもの世帯からは、
町が平成17年度に地域の大人達に呼びかけ、先進地視察等に参加してもらい、地域子ども教室の開催へと導いた。17年度に小学校の休業中(夏・秋・冬・春の各休み)に校区の小学1年生から6年生までを対象に参加者募集を行い、開始した。	の需要が高い。	「定員を増やしてほしい」との声がある。

2	分	析・	·検証(Cl	HECH	()											
		i	平価の視点	点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	立族	競のの貢	献度		<b>V</b>	貢献度	高い		運営委員会が円滑に地域子ども教室を運営でき、子どもが学校休業中						
			業の成果が」				貢献度	ふつう		「に多様な体験をできる場所があることは、健やかに成長するとともに、 地域がスズナによって完かして自分さして過ぎせる民間でよれるませず						
	かり	193	姿の実現に直	結してい	10		貢献度	低い		- 地域が子どもにとって安心して自分らしく過ごせる居場所となるまちづ - くりに直結している。						
妥	意	<b>刘</b> 0.	)適切性			<b>~</b>	妥当で	ある		総合計画の町が取り組むべきことで「子どもの健全育成を推進する」と	1 1					
当		合計	画、町民の二	一ズ、法	令		検討の	余地が	 ある	掲げ、多様な体験活動を経験できる体制を整備し、体験活動の機会を増	3					
性	· 等に か)	対し	って、意図が通	動切であ	ර		検討の	余地が	多い	加させるとしているため。						
	自治	台体	関与の必	要性		$\overline{}$	妥当で	ある	-	子どもの権利条例において、子どもの健やかな成長に関わる活動を支	1 1					
	(白)	<b>∠/</b> ★	が主体で取締	Π <i>オ</i> : Λ' <b>⇒</b>	車	=		余地が	 ある	援するとしているため。						
	業か	、住	民参画の余り	也はない	ず)			余地が								
	成身	₹σ.	)向上余地			□期待する成果が得られている				  コロナ禍ではあるが、参加人数を増加させるための周知方法等の改善						
	(期往	寺す	る成果を得ら	られたか	、今					余地がある。						
	後期ある		する成果をあ	げる余均	也が	成果の向上余										
_		<u> 対象の適切性</u> 対象の適切性				ļ			// 9 0.	■ 学校休業中に子どもが安全に安心して過ごせることになり、夏休みの子	1					
有効		(意図を達成するうえで、現状				状の   一改善の余地が			<b>かわ</b> ある	どもの体験活動の場として適切である。	2					
性	対象	設定	定が最も有効	か、他に	に有し、以番の余地が						~					
	703 04	な対象設定はないか) -段の適切性			✓適切である				<i>9</i> 01	■						
	1	図を達成するうえで、現状の  一改善の余地がややある							<b>かわち</b> ス	-						
	手段	段が最も有効か、他に有効な				□改善の余地が多い				等活動の支援を行っており適切である。						
		手段はないか) 【 業務の効率化 】 【					効率的		3/01	  補助金の執行業務と申込受付・調整業務のみである。						
		(業務手順、関与職員人数について見直しの余地はないか)							 ややある							
	(業)															
*+	投力	λ =	コストの滴t	<b>汀性</b>		□ 改善の余地が多い □ 適切である				  補助金がなくなると、地域子ども教室の運営に支障が出る。また開催を						
効率		□ルギャクルはどにたまる							<b>かわち</b> ス	したとしても、指導員への報酬の支払額の減額や、保護者への参加料の	3					
率性	(投)の余		るコストは適 まないか)	止か、肖	<b>小</b> 属	=		余地が		大幅な増額といった影響が出る可能性がある。						
		京研	全保の適切	性		ļ	適切で		<i>&gt;</i> 01	  国・県の補助はない。受益者負担については、令和3年度以降はコロナ						
	(TV)	± +/	A+114*****		- */ <del>-</del>				<u></u> ややある	禍により定員数が半分になったため、12,500円⇒15,000円の保護						
			負担は適正が 等はないか)	ハ、国、別	₹₹	Ш		余地が		者負担になった。						
	I	_				妥当		7,1-0/3	-	」 検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
				0点		点	2点	3点		め過去2年実施できなかった地域子ども教室だったが、定員を見直し、感刻	旋症					
									対策を行った	うえで今年度は、実施することができた。夏休みの子どもの体験活動の場						
			いずれか0点	d	(	3	С	С	ての需要が高							
4	分	有効	いずれか1点	С	(	.	С	С	米井度は任会	教育課へ移管されるため、円滑に事業が実施できるよう引継ぎを行う。						
		性														
	٠	· 効	合計4点	С		3	b	b								
1		率性	合計5点	С	ŀ	)	b	а								
á	活	性	ППОМ				٥	5								
Ē	<b></b>		合計6点	С	k	)	а	a								
		a 業務の内 ある		内容は適切で												

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの	)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報		□令	和04年度 実施計画事業	総合戦略該当事業					事務事業コード	15072	01
TIP!	事務事	業名		青少年非行防止支援事	事業	ŧ.	担当課	社	会教育課	担当係	社会教育	孫
総体	方	施策	07	子どもの健全育成		予.	会計款	01	一般会計 教育費			
総合計画系	田口に1条	組み方針	7-2	  子どもの健全育成を推進する		算 科 目	項	05	社会教育費			
四ボ	糸 収り組の万両		' _	」このが歴史自成を提進する		H	目	03	青少年育成	対策費		
根拠法令条例等				少年問題協議会法、志免町青少年問題協 少年問題協議会設置規則、志免町青少年		個	別計画					
実施期間 □0		<u></u> 02	1年度 <i>0</i>	のみ	不明 年度より開始	ì		期間	間限定(複数年	( ) 年度~	~ 年度	

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

	子が子木の口PJC子木门	対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象 (### C## )	② 地域青少年指導員	人	169	169	169
労主	(誰を、何を)	① 青少年問題協議会	団体	1	1	1
事務事業の目的		(b)				
	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・青少年非行防止の活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	青少年非行防止活動への取組の支援を行う ・青少年問題協議会の開催(年2回) ・青少年健全育成講演会の開催(年1回) ・少年補導員への補助金交付事務				

#### (2)指標達成状況

(4/1		7770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	青少年問題協議会開催数	1	回	目標 実績	2	2	2	100.0%
1	活動		<b>1</b>		目標	1	1	1	100.0%
'	70 = 27	HO TRELINGUES AND THE SAME OF	'		実績目標	0 100	1 100	100	
ウ	活動	少年補導員活動事業費補助金額	1	千円	実績	100	100	100	100.0%
エ	成果	青少年育成講演会参加者数	1	人	目標	100	100	100	113.0%
	n ==			***	実績 目標	未開催 20	113 20	20	4-0-00/
オ	成果	子どもの補導件数(町内)	<b>1</b>	件	実績	不明	10		150.0%
カ					目標				
73					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	s、地方債	66	66	66	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	66		
未	費	一般則	才源	229	346	274	346		
費		合計(	A)	295	412	340	412		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	汾](B)	750	686	607	776		
		トータルコスト( <i>A</i>	v)+(B)	1,045	1,098	948	1,188		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.10	0.09	0.08	0.10		

# (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和51年3月29日に条例が制定され、青	昭和24年の青少年問題対策協議会の設置	講演会の参加者からは、子育て関連や携帯
少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総		電話・インターネット等のメディアに関する内
合的施策の樹立につき、必要な事項を調査	議会法が制定された(内閣府)。	容の要望が多い。子育て中の親世代の参加
審議してきた。		を増やすべきであるとの意見もある。

2 分析・検証(CHECK)

2 5		・検証(Cl	_	()							
		評価の視点				項	i目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定		
	_位力	施策への貢	献度		☑ 貢献度	語い		青少年の非行、犯罪行為を未然に防止するため、地域で活動する各団体			
( <del>-</del>	事務	事業の成果が <sub>-</sub> 姿の実現に直	上位施策	の	□貢献度	きふつう		↑間で意見交換や情報共有を行い、地域全体で子どもを育てることは上 ・ ・ ・ ・			
か		女の大坑に巨	.м <u>-</u> О С С	۵,	□貢献度	延低い しょうしん					
妥意	(図)	の適切性			☑妥当で	ある		青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事業であり、意図も適切で			
	総合言	計画、町民の二	一ズ、法	令		余地が	ある	ある。	3		
性か		して、意図が近	直切 ぐめ	<del>ර</del>	□検討の	余地が	多い				
É	1治	体関与の必	要性		☑妥当で	ある		青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事業であり、地域社会を担			
(É	自治体	本が主体で取締	組むべき	事	□検討の	余地が	ある	う青少年育成は自治体が主導して行っていく必要がある。			
		主民参画の余り			□検討の	余地が	多い				
成	く スティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティス	果の向上余地 川期待する成果				る成果	が得られている	青少年問題・非行防止対策も多様化している昨今、青少年の現状を分析			
		する成果を得ら				向上余	地がややある	し、研修内容等を考え成果を向上させる余地がある。			
	期待	する成果をあ )	ける余地	りか		向上余	: 地が多い				
有対	才象(	の適切性				ある		青少年問題協議会を中心に、青少年指導員を対象に講演会等を行って			
効 (意		を達成するうえ			<u></u> □ 改善の	余地が	ややある	おり、対象は適切である。	2		
₩ 対		定が最も有効 象設定はない		有 -	   改善の	余地が	多い		_		
手	-段(	の適切性			<u>−</u> ✓ 適切で	ある	-	地域の青少年の指導、育成、保護及び矯正に関することについての研修			
		図を達成するうえで、現状の					ややある	や会議を行っており、手段は適切である。			
		最も有効か、f ないか)	也に有効	な -	<u></u>	余地が	多い				
業	業務の効率化					]である	-	会議の手配など必要最小限の事務量である。			
(当	坐務∋	野順、関与職員人数につい 直しの余地はないか)				余地が	ややある				
τ̈́	見直					余地が	多い	<u> </u>			
効	}入:	コストの適t	<b>刃性</b>		☑ 適切で	ある		講演会の開催費、青少年指導員の保険代等であり、削減の余地はない。			
率 (‡	・						ややある		3		
性の	余地	はないか)		-	 改善の	余地が	多い				
則	扩源	確保の適切	性		☑ 適切で	ある		国や県等の活用できる補助金はない。			
(₹	受益者	<b>皆負担は適正</b> が	か. 国. 県	等	 改善の	余地が	ややある				
ő	補助	等はないか)	СПСЛ		 改善の	余地が	多い				
				3	妥当性		分析・	検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)			
			0点	1,	2点	3点		議会では、各団体の代表者がそれぞれの立場で意見を出し合い、情報交換			
		いずれか0点	d	С	С	С		ができた。また、青少年健全育成講演会では、「共にそだつ」をテーマに講演			
	<u></u>		ч					、の指導等について研修を行い多くの参加をいただいた。引き続き、地域≦ 全育成に取り組んでいきたい。	£14		
分	有效	いずれか1点	С	С	С	С		工行域に次が通びくいて/とい。			
析	効性	스크 4 노		Η.	<b>L</b>	la					
検	効	合計4点	С	С	b	b					
証	率性	合計5点	С	b	b	а					
結	結   二										
果		合計6点	С	b	a	a					
		a	a 業務の内 ある			切で					

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			コストの方向性				INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1507202
Ę	<b>事務事業名</b>		青少年育成団体活動支援事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
総体合計	施策	07	子どもの健全育成	予	会計	01 一般会計		
合	33-11		3 - 5 - 7 (2-13/)	算	款	10 教育費		
計画を	町に組み士針	7-2	  子どもの健全育成を推進する	科目	項	05 社会教育費	•	
画系	4人の利用の人の下	1-2	一一 このが 健主 自成を 推進する	Н	Ш	03 青少年育成	対策費	
根挑	见法令条例等	志免	町青少年特別育成費補助金交付要綱	個	別計画			
実施	期間 □04	上年度0	Dみ ✓単年度繰返 S 51 年度より開始	台		□期間限定(複数年	E) 年度~	4年度

## 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)					
事務事業	①対象 (##	⑦ 青少年育成団体	団体	25	24	30					
事	(誰を、何を)	<b>(1)</b>									
		(b)									
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	青少年の健全育成のため、青少年が所属するスポーツ、文化団体の活動 ・補助金の交付	の支援	を行う							

#### (2)指標達成状況

(4/1		7776							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金交付団体数	1	団体	目標 実績	32 25	30 24	30	80.0%
	\I	1201 0 47	_		日標	1,600	1,500	1,500	
1	活動	補助金額	1	千円	実績	1,175	1,186		79.1%
ウ	成果	青少年育成団体に所属する子どもの人数	<b>1</b>	人	目標	804	804	600	69.7%
	19001	R J T R MEI PHOLINE	'		実績	671	560		031770
エ					目標				
					実績				
才					目標				
					実績				
カ					目標 実績				
	1		1		大限				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	1,175	1,500	1,184	1,500		
費		合計(	(A)	1,175	1,500	1,184	1,500	1,500	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	750	686	692	695		
		トータルコスト( <i>A</i>	()+(B)	1,925	2,186	1,876	2,195		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.10	0.09	0.09	0.09		

# (4)環境変化·住民意見等

昭和51年度から青少年の健全育成を願って 始める。 21年度に人数割りを均等割り(上限有り)へ 変更。24年度より、均等割りの補助金交付 基準に満たない団体へは、その団体の活動 内容に応じた額(補助対象経費の2分の1以 内の額)を交付するように変更した。

2	分	析•	検証(Ch	HECK	()										
			平価の視点	点			項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	立族	策への貢	献度		☑ 貢献!	度高い		青少年育成団体の活動が活発に行われることは、子どもたちが様々な						
			業の成果が」			貢献/	度ふつう		体験を通して健やかに成長し、地域で安心して自分らしく過ごせる居場						
	かり	9 3	姿の実現に直	結してい	19	貢献/	度低い		- 所となるまちづくりを目指す上位施策に直結する。 -						
妥	意图	¥σ.	)適切性			✓妥当	である		総合計画において、町が取り組むべきこととして子どもの健全育成を推						
当	(総合	信	画、町民の二	ーズ、法	令	検討(	の余地が	<b></b> ある	進することが掲げられているため適切である。	3					
性	寺に か)	対し	て、意図が通	11切ぐめ	<b>ර</b>	検討(	の余地が	多い							
	自治	台体	関与の必	要性		✓ 妥当	である		子どもの健全育成を推進していくためには、その活動を行っている団体						
	(白流	台体	が主体で取組	おべき	事	検討(	の余地が	<b></b> ある	「に対して、町は主に情報の共有と活動費への一部補助など経済的な支 						
	業か	、住	民参画の余り	也はない	か)	検討(	の余地が	多い	- 援を行い、団体と協働することが必要である。						
	成界	₽σ.	)向上余地			期待	する成果	どが得られている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため団体の活動が制限され、期待						
			る成果を得ら			☑ 成果(	の向上系	≷地がややある	する成果が得られなかったが、今後は感染対策を徹底しながら広く充実						
	後期ある		する成果をあ	ける余地	助	成果(	の向上系	≷地が多い	- した活動を実施されることで成果向上が見込まれる。						
有	対象	<b>₹</b> 0.	適切性			✓ 適切	である		志免町青少年特別育成費補助金交付要綱で定められた対象団体のため						
効	(意图	図を	達成するうえ	で、現状	犬の	_		<b>でやある</b>	適切である。	2					
性	対象 効な	設定が最も有効か、他に有対象設定はないか) 改善の余地が多						多い	1	_					
	手段	手段の適切性							団体へ補助金交付等の支援を行うことにより、その活動が活性化され、						
		(意図を達成するうえで、現状の 一 改善の					の余地が	<b>でやある</b>	子どもの健全育成につながるため適切である。						
		手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか)					の余地が	多い	7						
	業系	务σ.	)効率化			☑効率的	内である		補助金交付事務等は必要最小限の職員で行っており、見直しの余地は						
	(業系	業務手順、関与職員人数につい					の余地が	ややある	すない。						
	て見	直しの余地はないか)				改善の	の余地が	多い	1						
効	投力	ζコ	ストの適ち	70性		✓適切	である		予算枠(補助上限有り)を設けて活動実績に応じて補助金を交付してお						
率性	(投力	入するコストは適正か、削減					の余地が	<b>でやある</b>	り、必要最低限の投入コストであるため削減の余地はない。	3					
性	の余	地は	はないか)			改善の	の余地が	多い	7						
	財源	泉碓	保の適切	性		☑適切	である		国や県等の活用できる補助等はない。						
			負担は適正だ	か、国、県	等	改善の	の余地が	ややある							
	の補	助等	手はないか)			□改善の	の余地が	-							
		\				妥当性			・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
				0点	1点	2点	3点	┃昨年に引き続	き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動を自粛する団体も多く、	思う					
			いずれか0点	d	c	С	С	よつに事業か  を凝らして活	できない状況が続いているが、各団体とも感染対策を徹底したうえで創意 動を行っている。今後状況が回復すればこれまで同様に様々な活動が可能	上大   とな					
		有							まっていっている。 アダイのの 白皮 ティののこうの くらぶこばく ひんまがった 年の健全育成に向けた取り組みを支援して成果向上を図りたい。						
	ת (כי	効	いずれか1点	С	С	С	С								
T		性・	合計4点	С	С	b	b								
柞		効変													
	Ē	率性	合計5点	С	b	b	a								
# 5	吉具		合計6点	С	b	а	а								
			a	業務ある		容は通	適切で								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			コストの方向性				INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1507203
哥	<b>事務事業名</b>	T	子ども会育成会連絡協議会活動支援事業	ŧ	担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
40 11					会計	01 一般会計		
総合 計画 系	施策	07	子どもの健全育成	予算	款	10 教育費		
計				科	項	05 社会教育費	<del></del>	
画系	取り組み方針	7-2	子どもの健全育成を推進する	科目				
					目	03 青少年育成	初策費	
根拟	则法令条例等	志免	町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱	伲	別計画			
11/1/	נו נואליו ביט	ָנֵי ט	1日公共日内州国际旧勤于不关 间均亚人门交响	"	1/10111			
実施	期間 □04	<b> 年度</b> 0	かみ	台		□期間限定(複数年	=) 年度∼	~ 年度

## 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (誰を、何を)	② 子ども会育成会連絡協議会	団体	1	1	1
事	(昨年、19年)	<u> </u>				
		(a)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・活動が活発に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	志免町子ども会育成会連絡協議会に補助金を交付し、活動支援を行う・補助金交付・協議会が行う主催事業の連絡調整(事務局)・糟屋地区子ども会育成会連絡協議会との連絡調整				

#### (2)指標達成状況

(4/1		7776							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	補助金額	1	千円	目標	300	300	300	44.7%
-	1,1,1,2,3	110 15—111	·		実績	134	134		
1	成果	子ども会育成会連絡協議会主催・参画事業	<b>^</b>	事業	目標	5	5	5	80.0%
	IX. <del>X</del>	数	ı	尹木	実績	2	4		80.07
ゥ					目標				
					実績				
I					目標				
					実績				
オ					目標				
\]					実績				
カ				-	目標				
71					実績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	s、地方債	0	0	0	0		
事	4.00	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	134		300	300		
費		合計(	A)	134	300	300	300		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	750	686	692	695		
		トータルコスト(A	v) + (B)	884	986	992	995		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.10	0.09	0.09	0.09		

## (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和50年頃、各子ども会育成会が相互に協力して子ども会の育成を図ることを目的に 組織された協議会に対し交付された。	平成21年度、補助金を4万円削減。平成22年度も2万円削減し30万円にしている。	なし

2 分析・検証(CHECK)

2 :		・検証(Ch	_	<u>,                                     </u>					Tales 1 4
		評価の視点				項	I	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
(:	事務事	施策への貢 事業の成果が」 姿の実現に直	上位施策	の 「	✓ 貢献度 □ 貢献度			子ども会や育成会の活動が活発に行われることは、子どもたちが様々  な体験を通して健やかに成長し、地域で安心して自分らしく過ごせる居  場所となるまちづくりを目指す上位施策に直結する。	
	)/) コ1日 9 :	安の天児に但	Ma U C C	] ه	]貢献度	低い		場別となるようフトッと日拍9工位心界に巨和9る。	
妥克	シ図ぼ	の適切性			√ 妥当で	ある		総合計画の町が取り組むべきこと「子どもの健全育成を推進する」に子	
		十画、町民の二				余地が	 ある	ども会育成会連絡協議会を通じて、子ども会や育成会の活動を支援す	3
性	宇に対 か)	して、意図が通	動切であっ	6	_	余地が		るとしているため妥当である。	
E	自治信	体関与の必	要性		√妥当で	ある		子どもの健全育成を推進していくためには、その活動を行っている団体	
(	自治体	本が主体で取約	むべき	事 [	一検討の	余地が	ある	「に対して、町は主に運営に関する事務的な連絡調整や活動費の一部補 助などの経済的な支援を行い、団体と協働することが必要である。	
第	美か、信	主民参画の余均	也はない	か) [	検討の	余地が	多い		
Б	成果(	の向上余地			]期待す	る成果	が得られている	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため団体の活動が制限され、期待	
		する成果を得ら する成果をあ			☑成果の	向上余	地がややある	する成果が得られなかったが、今後は感染対策を徹底しながら広く充実 - した活動を実施されることで成果向上が見込まれる。	
đ	5るか <u>.</u>	)	17 2075-1	5/3.	一成果の	向上余	地が多い		
有	付象(	の適切性			☑適切で	ある		志免町社会教育関係団体活動事業費補助金交付要綱に定められた対象	-
	意図を	を達成するうえ 定が最も有効	で、現状から他に	<b>さの</b> [	一改善の	余地が	ややある	団体のため適切である。	2
性效	かな対	象設定はない	か)	F [	一改善の	余地が	多い		
1	手段(	の適切性			☑適切で	ある		団体へ補助金交付等の支援を行うことにより、その活動が活性化され、	
		を達成するうえ 最も有効か、他			一改善の	余地が	ややある	子どもの健全育成につながるため適切である。	
		ないか)	SIC HWI	Ĩ [	」改善の	余地が	多い		
Ž	業務の	の効率化		[	<b>夕</b> 効率的	である		補助金交付事務等は必要最小限の職員で行っており、見直しの余地は	
(	業務手	手順、関与職員	人数にこ	วเา [	改善の	余地が	ややある	ない。	
		しの余地はない			一改善の	余地が	多い		
効 <sup>注</sup>	殳入.	コストの適切	刀性	[	☑適切で	ある		↓投入コストは子ども会育成会活動に必要な経費のみとなっており、削減 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_
率(	投入す	するコストは適	正か、削	減 [	」改善の	余地が	ややある	の余地はない。	3
		はないか)			」改善の	余地が	多い		
月	<b>才</b> 源6	確保の適切	性		✓適切で	ある		国や県等の活用できる補助等はない。	
		皆負担は適正か 等はないか)	い、国、県	等 L			ややある		
0	7冊助	(分はないい)			改善の	余地が	-		
			0 -		<u> </u>			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	r" /Eil
		$\overline{}$	0点	1点	2点	3点		き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動の制限や自粛が相次さ 業を実施することはできなかった。子ども会育成会連絡協議会については	
		いずれか0点	d	С	С	С		足が課題として挙げられ、後継者の育成・発掘が必要である。今後、状況が	
分	有	いずれか1点	С	С	С	С		で同様に様々な活動が可能となるため、子どもたちの健全育成に向けた耶 果題を克服して成果向上を図りたい。	り組
析	効性	合計4点		С	b	b	ので又及し、可	K版で元別ので成本的上で区グバング。	
検	効率	]	С						
証結	率性	合計5点	С	b	b	а			
果		合計6点	C	b	a	а			
		а	業務ある		容は適	ー i切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの	)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報	√令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	1507204
叫	事務事業名		子ども読書活動推進事業	1	担当課	社会	会教育課	担当係	町民図書館
総体	施策	07	子どもの健全育成	予	会計款	01	一般会計 教育費		
総合計画系	取り組み古針	7-2	  子どもの健全育成を推進する	算 科 目	項		社会教育費		
画 术	4人・フルログアノコル	' _	」このの陸王自成を推進する	H	目	06	町民図書館	費	
根护	処法令条例等	子どす	話動推進計	·画					
「実施期間 □ 04年度のみ □ □単年度繰返 H 13 年度より開始 □ 期間限定(複数年) 2							(年度~	~ 年度	

# 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦ 子ども(0歳~18歳の町民)	人	9,436	9,296	9,249
事	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
業		$\bigcirc$				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・読書の意義や楽しさを知り、読書習慣が身につく				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	子ども読書活動推進計画に沿った、子どもの読書活動を推進する取組を・子ども講座の開催(夏休み工作講座、囲碁教室、文化祭工作教室、一日日・としょかんまつりの開催・おはなし会の開催(おはなしのへや、シーメイトおはなし会、公民館おは、	図書館		ち上映会)	

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	子ども講座開催数(夏休み工作教室含む)	<b>1</b>		目標	2	2	2	50.0%
,	/口到	] C O确任所准数(发外07工作教主百句)	' '		実績	0	1		30.076
1	活動	子どもを対象とした講演会等の開催数	<b>1</b>	回	目標	1	1	1	100.0%
-1	/白剉	丁と 0 を対象と 0 た 神 演 云 寺 0 開 惟 奴	ı	ഥ	実績	1	1		100.0%
ウ	活動	おはなし会開催数	<b>^</b>	回	目標	105	105	110	47.6%
	/白剉	(シーメイト、小中学校)	ı		実績	18	50		47.0%
Т	成果	子ども講座(夏休み工作教室含む)延べ参加	<b>^</b>	,	目標	400	400	400	2.0%
	以木	者数	ı	人	実績	未開催	8		2.076
才	成果	子どもを対象とした講演会等の延べ参加者	<b>^</b>	ı	目標	800	800	800	66.5%
7)	以木	数	ı	<b>\</b>	実績	368	532		00.5%
カ	成果	おはなし会延べ参加者数	Λ.	,	目標	160	2,100	200	78.1%
71	以木	(シーメイト、小中学校)	ı	人	実績	17	1,640		70.170

#### (3) 総事業費の推移

(3) 1	心书木	貝の月色的			-		_		
		財源内訳(単位	· <del>+</del> 田)	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度
		划	. 113/	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)
		国·県支出金	<b>&amp;、地方債</b>	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	82	159	7	159		
費		合計(	(A)	82	159	7	159	159	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	3,547	2,829	3,217	2,479		
		トータルコスト( <i>A</i>	/)+(B)	3,629	2,988	3,224	2,638		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.47	0.37	0.42	0.32		

#### (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
志免町民図書館開館当初より、図書館事業の一環としておはなし会等を開始した。令和3年度から、子どもの読書活動に関する事務事業3つを統合し、子ども読書活動推進事業として取り組むこととした。	が策定され、子どもの読書活動支援が大き	講座やおはなし会の参加者より、「楽しかった」「参加してよかった」「また参加したい」との声あり。

2 分析・検証(CHECK)

2 2		・検証(Ch	_	()					
L.		評価の視点				項	<u> </u>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		施策への貢			☑貢献度			子ども達の読書習慣が身につくことは、豊かな人間性と想像力を育むこ	
(	事務事	業の成果が」 姿の実現に直	と位施策 結してし	の	□貢献度	きふつう		とにつながっている。	
	)/) 118 a :	女の大売に直	MIO CV	٠۵	□貢献度	延低い しょうしん			
妥当	急図の	の適切性			☑妥当で	ある		総合計画および子ども読書活動推進計画に基づいた事業であるため適	
当		†画、町民の二 して、意図が通			□検討の	余地が	ある	切である。	3
	),) £ICYI	して、忌凶が返	∃9J C00	8	□検討の	余地が	多い		
	自治信	本関与の必	要性		☑妥当で	ある		子どもの読書活動の推進に関する法律に基づき、子どもの読書活動の	
(	自治体	本が主体で取約	且むべき	事	□検討の	余地が	ある	推進に関する施策を実施している。	
業	美か、信	主民参画の余均	也はない	か)	□検討の	余地が	多い		
Į.	成果(	の向上余地			■期待す	る成果	が得られている	感染症拡大状況により、規模を縮小したり中止する事業があった。成果	
		する成果を得ら する成果をあ			☑成果の	向上余	地がややある	を上げるため感染症対策しながら実施できるものを検討していく。	
	あるか		1) ठऊम	8/1)	□成果の	向上余	地が多い		
有	付象(	の適切性			☑ 適切で	ある		本事業の対象を子ども(18歳以下)とすることは、法令に定められてい	
効(	意図を	を達成するうえ 定が最も有効:	で、現状が、地に	tの ≠	□改善の	余地が	ややある	ేవి.	2
性效	かな対	定が最も有効 象設定はない:	か、他に か)	Ħ	□改善の	余地が	多い		
1 3	手段の	の適切性			□適切で	ある		発達段階に応じて内容を充実させたり、より効果的な手段を模索する	
		を達成するうえ 最も有効か、他			☑改善の	余地が	ややある	余地はある。	
		取り有効が、ii ないか)	BIC H XI	ó	□改善の	余地が	多い		
3	業務の	の効率化			□効率的	]である		手段に応じてボランティア等、地域資源を活用することで効率化を図る	
(	業務手	F順、関与職員	人数につ	O(1	☑改善の	余地が	ややある	可能性はある。	
		しの余地はない			□改善の	余地が	多い		
効 <sup>力</sup>	役入:	コストの適切	70性		☑適切で	ある		前回、類似事業を統合して予算化したことから、重複する支出を抑える	
率 (		するコストは適	正か、削	減	□改善の	余地が	ややある	ことが可能となったため削減の余地は無い。	2
1'-L		はないか)			□改善の	余地が	多い		
貝	甘源	権保の適切	性		☑適切で	ある		開館30周年記念講演会事業を主な取組として、今年度の子ども読書活	
		1負担は適正か	か、国、県	等	□改善の	余地が	ややある	動推進に関する事業を対象実県費補助金を充当した。	
σ.	り補助	等はないか)			□改善の	余地が	-		
				3	妥当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1点	2点	3点		止のため昨年中止とした夏休み工作教室を実施した。申込者は定員に達し	
		いずれか0点	d	С	С	С	こも達はこし。	も意欲的に参加していた。引き続き、シーメイトおはなし会は定員を設けて 学校で実施していた給食時間に放送による読み聞かせに加え、小学校1校、	用作 面由
	有						学校にて対面	による読み聞かせを実施することができた。	
分	効	いずれか1点	С	С	С	С	イベントとして	「は、開館30周年記念講演会と演会に関連したぬりえ作品の展示を開催し	、多く
析・	性・	合計4点	С	С	b	b		加した。来年度は、従来実施していた館内でのおはなし会をはじめ、子ども に基づく事業を展開する。	読書
検	効			Ŭ		~	心到性医可凹	に至りて事業で成用する。	
証	一件	合計5点	С	b	b	а			
結果		合計6点	С	b	а	а			
		h			しあり				
		b	の一	部見	直しが	必要			
			1				1		

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

3 /							成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			=	コストの	)方向性	ŧ	スペップごに(水 / 元の/) ( 数 ) (
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも糸	推持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業				事務事業コード	1507205
Ę	事務事業名		子どもの運動能力向上講習会開催事業	į	担当課	社会教育課	担当係	スポーツ振興係
総体合計	施策	07	子どもの健全育成	予算	会計 款	01 一般会計 10 教育費		
計画 系	取り組み方針	7-2	子どもの健全育成を推進する	科目	項目	06 保健体育費 02 体育振興費	-	
根挑	见法令条例等			個	別計画			
実施	期間 🔲 04	年度の	Dみ ✓単年度繰返 H 22 年度より開始	4		□期間限定(複数年	=) 年度~	- 年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

<u> </u>	手切手来の口口で手来! 					05年度
		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (禁ち 何ち)	⑦ 児童生徒	人	3,072	3,020	2,960
事	(誰を、何を) 	<b>①</b>				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・運動能力が向上する				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	講習会の開催を行う(平成28年度よりアビスパ福岡と協力して開催) ・広報活動(広報紙、ホームページ、チラシ) ・開催準備、当日進行、講師補助、後片付け				

#### (2)指標達成状況

(4/1		7770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	講習会開催数	1	回	目標 実績	1	1	1	100.0%
1	成果	講習会参加者数	<b>1</b>	人	目標	80	80	80	67.5%
	19071		'		実績 目標	30	54		
ウ					実績				
エ					目標 実績				
才					目標				
					実績目標				
カ					実績				

# (3) 総事業費の推移

(3)	心于木	貝りが比例					_		
		財源内訳(単位	:千円)	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度
		W1101 101 ( — 122	- 113/	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)
		国·県支出金	<b>&amp;、地方債</b>	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
*	費	一般則	才源	4	85	3	85		
費		合計(	(A)	4	85	3	85		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	834	847	841	856		
		トータルコスト(A	/)+(B)	838	932	845	941		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.11	0.11	0.11	0.11		

## (4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
子どもの運動能力の低下が見られる中で、 子どもの体力向上に向けた取り組みが必要 であり、平成22年度に事業を開始した。	なし	参加者から、次回も参加したいとの声がある。

2 分析・検証(CHECK)

2 :		・検証(Ch	_	()					
		評価の視点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		施策への貢			☑貢献度	き高い		子どもの運動能力低下は社会的な問題であり、運動能力向上のきっか  けとなる事業を開催することは、子どもの健やかな成長に貢献できると	
(	(事務導 目指す	事業の成果が」 姿の実現に直	上位施策 結してし	のいる		きふつう		けてなる事業を開催することは、すともの健やかな成長に貝胁できると   考えられる。	
7.	か)		пдо ст	•		き低い			
又		の適切性			☑妥当で	である		子どもの運動能力向上のきっかけとなる事業を開催することにより、運	_
当		計画、町民の二 して、意図が通			□検討σ	金地が	ある	動能力が向上につながる。	3
1土 /	か)			Ů	□検討σ	余地が	多い		
I	自治的	体関与の必	要性		☑妥当で	である		子どもの運動能力向上のきっかけとなる事業を開催すること等の体制 を整えることは、町の役割であり妥当である。	
(	自治体	本が主体で取組	きべる胆	事、	□検討の	)余地が	ある	で登えることは、町の位割であり女目である。	
		住民参画の余均		(ית	□検討σ	)余地が	多い		
		の向上余地			☑期待す	る成果	が得られている	子どもの運動能力低下と運動離れに対処し、楽しみながら子どもに運動	
		する成果を得ら する成果をあ			□成果の	)向上余	地がややある	を好きにさせる取組みとして期待する成果が得られる。	
ā	あるか	)	17 07,1-1	_,,	□成果の	)向上余	地が多い		
ы	対象(	の適切性			☑適切で	である		全町民が対象のため、適切である。	
	意図をおまる	を達成するうえ 定が最も有効	で、現り か、他に	で 有	□ 改善 <i>σ</i>	金地が	ややある		3
往	効な対	象設定はない	か)	13	□改善 <i>σ</i>	金地が	多い		
		の適切性			☑適切で	である		児童生徒の運動能力の向上を図るため講習会を開催することは、手段	
		を達成するうえ 最も有効か、他			□改善の	金地が	ややある	として適切である。	
=	手段は	ないか)	510 13703	0.	□改善の	余地が	多い		
	業務の	の効率化				りである		必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	
(	(業務月	手順、関与職員	人数につ	οlι	□改善の	余地が	ややある		
		しの余地はない			□改善の	)余地が	多い		
XVJ	投入	コストの適切	<b>刃性</b>		☑適切で	である		予算は傷害保険料など最小限のものである。	_
率(性)	役入す	するコストは適	正か、削	減	□改善の	)余地が	ややある		3
1 - L		はないか)			□ 改善の	)余地が	多い		
ļ	財源的	確保の適切	性		☑適切で	である		平成28年度より公益財団法人福岡県市町村振興協会が実施している 『健康づくり地域交流フェスタ』事業に応募して、アビスパ福岡と協力し	
		者負担は適正か (第1443)	)、国、県	等	=		ややある	『健康 フへり地域文派フェスタ』事業に心券して、アロスハ価両と協力し   ているため、講師謝礼金は無料となっています。	
C	か 無助	等はないか)				金地が	-		
					妥当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1,	点 2点	3点		イルス感染症予防の影響により参加者数が想定した定員よりは少なかった 重動することが定着するような仕掛けが必要である。運動をすることのきっ	
		いずれか0点	d	0	: с	С		量勤することが任有するようは圧倒りが必要とある。建動とすることがとう 参加者を増やすようにPR活動の必要がある。	7/3-17
	有						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
分析	効	いずれか1点	С	C	; C	С			
171	11	合計4点	С		b	b			
検	効率	7							
証結	1/4	合計5点	С	k	b	a			
果		合計6点	С	k	а	а			
		а	業務ある		内容は適	切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

7,5					方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				ייוער	בוניו כל ל	E	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		E	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	1507206
哥	事務事業名 1		ブックスタート事業		担当課	社会教	育課	担当係	町民図書館
<b>%%</b> /★	11-7-		7114 0 14 0 74 1	予	会計	01 <del>-</del> A	公会計		
総合 計画 系	施策	0.7	子どもの健全育成	了算	款	10 教育			
計	HDL1公日コレナー会	7 2	子どもの健全育成を推進する	科目	項	05 社会	会教育費		
曲 糸	以り祖の万丈	1-2	丁乙もの健主自成を推進する	日	Ш	06 町	包書館	費	
根挑	见法令条例等			個	別計画	志免町子	ども読書	活動推進計	·画
実施	期間 □(	4年度(	のみ	台		期間限定	定(複数年	) 年度~	~ 年度

## 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象  (誰を、何を)	⑦ 生後10ヵ月の子ども(及びその保護者)	人	546	553	500
事	(証を、例を)	<b>②</b>				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・絵本で親子のふれあいを深める				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	健康課事業の「10ヵ月赤ちゃん相談日」で図書館ボランティアによるおは チラシ等の配付を行う ・絵本の購入、支払事務 ・会場準備、受付、絵本配付、おはなし会についてボランティア団体との調		会の実施と	≤絵本1冊	と情報

#### (2)指標達成状況

(-/)		7.00							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	おはなし会開催数	1		目標 実績	12	12	12	
		10=041=+0>+ 04++51150 + 10				100.0	100.0	100.0	
1	成果	検診参加者のうち、絵本を受け取った人の	↑	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0%
	7-50214	割合	'	, 0	実績	100.0	100.0		1001070
ゥ					目標				
					実績				
I					目標				
					実績				
オ					目標				
\]					実績				
カ				-	目標				
73					実績				

# (3) 総事業費の推移

(3)	心于木	貝の月世代					-		
		財源内訳(単位	:千円)	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			- 113/	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)
		国·県支出金	<b>&amp;、地方債</b>	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	308	339	261	339		
費		合計(	(A)	308	339	261	339		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	1,510	2,068	1,757	1,008		
		トータルコスト( <i>A</i>	/)+(B)	1,818	2,407	2,018	1,347		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.20	0.27	0.23	0.13		

## (4)環境変化·住民意見等

赤ちゃんのことばと心を育むためには、保護 者のぬくもりの中でやさしく語りかける時間 が大切だといわれており、そのかけがえのないときに「絵本」を通してことばと心を しいひとときに「絵本」を通してことばと心を であげたい。手あそびを教えてもらって助かる。。健診の待ち時間が楽しくて助かった。(対象者) につながっていないこともあり、平成22年 度は絵本は貸出という形で行った。しかし、「存続すべきだ」という町長の意向により、平成23年度は再び配付という形で実施している。平成28年度からは主管課が子育て支援課の3課で
援課から社会教育課(町民図書館)へ変更。

2 分析・検証(CHECK)

		·検証(Cl	_	()					Jul -				
		評価の視点				項	.El	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
		施策への貢			<b>夕貢献度</b>	高い		本事業を通して保護者やその子どもに読書の楽しさを伝えることは、子					
(	事務導 日指す	『業の成果が』 姿の実現に直	と位施策 結してい	の[	貢献度	ふつう		どもの健全育成につながっている。					
1	h\)		WIO CO	. [	貢献度	低い							
妥 ,	意図(	の適切性		[	☑妥当で	ある		町の施策目標である子どもの豊かな人間性、想像力の育成につながる					
当(	(総合言	十画、町民の二 して、意図が通			]検討の	余地が	ある	事業であるため適切である。	3				
性	<del>す</del> に対 か)	して、忌凶が返	∃9J C 00	ິ [	検討の	余地が	多い						
Ī	自治的	本関与の必	要性	[	☑妥当で	ある		子ども読書活動推進計画に基づいた事業であり、町の施策として子ど					
(	自治体	本が主体で取組	且むべき	事 [	検討の	余地が	ある	<b>■もが本に親しむことで心豊かな感性や想像力を育むことを目的とし、乳</b> ■幼児期から実施している取組である。					
j	業か、信	主民参画の余均	の余地はないか)		検討の	余地が	多い						
J.	成果の向上余地				☑ 期待する成果が得られている			10カ月健診にきた子ども全員に絵本を配付している。集団健診に参加					
	(期待する成果を得られたか、今 後期待する成果をあげる余地が				]成果の	向上余	地がややある	↑できなかった子どもには後日健康課を訪ねた際に図書館に寄ってもら - い絵本配付している。これ以上の成果向上の余地はない。					
	後期付9 る成果をあける赤地が あるか)			3 <i>1</i> 3.	一成果の	向上余	地が多い	て、「大学的でしている。これ以上の人人では大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大					
有	対象(	の適切性		[	✓適切で	ある		音やことばに興味をもち、発語する発達段階の時期の子どもを対象とし					
					改善の	余地が	ややある	ているのは適切である。	3				
性	対象政	定が最も有効 象設定はない	か、他に か)	Α [	改善の	余地が	多い						
=	手段(	の適切性	性・図適切である					検診のために来館する対象の子どもと保護者に配付しているため、適					
	(意図を達成するうえで、現状の				□改善の余地がややある			切な手段である。					
	手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか)				□改善の余地が多い								
1117	業務の効率化 (業務手順、関与職員人数につい			☑効率的である			図書館職員等が10か月相談の流れに1名または2名が担当して説明して記明してがなる。						
(			วเา [	一改善の	余地が	ややある	ながら手渡ししているので、とても効率的だと考える。						
		しの余地はなり		[	□改善の余地が多い								
効 <sup>月</sup>	投入	コストの適切	<b>刃性</b>		☑ 適切で	ある		絵本購入等の必要最低限の予算である。					
率 (	(投入す	するコストは適	正か、削	減 [	一改善の	余地が	ややある		3				
		はないか)		[	改善の	余地が	多い						
ļ	財源研	権保の適切	性	[	✓ 適切で	ある		国県などからの補助金等は無い。受益者負担を求める事業ではない。					
		<b>賃負担は適正</b> た	か、国、県	等 [	」改善の	余地が	ややある						
C	の補助	等はないか)		[	改善の	余地が	-						
					当性	_		検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			0点	1点	( 2点	3点		イルス感染症予防実施のため、あらかじめ受付時間を指定し分散して検診? ことから集合型のおはなし会は継続して中止した。そのため、昨年度と同様					
		いずれか0点	d	С	С	С		ことがつ集百望ののはなし云は極続して中止した。そのため、昨年度と同様の本やリーフレットを配付するにとどまった。対面による読み聞かせにつし					
	有							おはなし会などの紹介をしている。引き続き、図書館(社会教育課)、健康語					
分析		いずれか1点	С	С	С	С		ター(子育て支援課)が連携して事業を実施していく。					
17/T	性	合計4点	С	С	b	b							
検	効果	!											
証	率性	合計5点	С	b	b	а							
結果		合計6点	С	b	а	а							
		a	業務ある		容は適	切で							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			-	コストの	)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報	√令	和04年度 実施計画事業				事務事業コード	1507207
叫	<b>事務事業名</b>		生涯学習館ジュニア講座開催事業	1	担当課	社会教育課	担当係	生涯学習1号館
総体	施策	07	子どもの健全育成	予	会計	01 一般会計		
合		07	丁ともの庭王自成 	算	款	10 教育費		
総合計画系	HOLISH ユー七名	7 2	子どもの健全育成を推進する	科目	項	05 社会教育費	₽ E	
曲 糸	「日文・フルロのテノ」业	1-2	一丁と 000 陸王自成を推進する	Н	目	08 生涯学習館	<b>詳運営費</b>	
根护	心法令条例等			但	別計画			
実施	期間 04	1年度の	Dみ ☑単年度繰返 H 14 年度より開始	台		□期間限定(複数年	<b>∓</b> ) 年度~	~ 年度

# 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象   (誰も 何ち)	⑦ 小学校児童、中学校生徒	人	4,660	4,621	4,611
事	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
		<ul><li></li></ul>				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)					
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	学校休日の土曜日及び長期休暇に講座の開催を行う(長期講座、単発講 ・講座の企画、広報掲載、募集チラシの発行、小中学校への募集 ・参加受付	莝)			

#### (2)指標達成状況

(2/)	引示连以1	\\ <i>I</i> II						-	
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	講座企画数	<b>*</b>	講座	目標	19	13	13	153.8%
,	/白剉		ı	神圧	実績	0	20		155.6%
1	活動	講座開催数	<b>^</b>		目標	59	65	156	153.8%
1	心到	再座用准数	ı	쁘	実績	0	100		155.6%
ウ	成果	共成24 が平洋学術	<b>^</b>	1	目標	390	390	390	62.1%
.,	风未	講座延べ受講者数	ı		実績	未開催	242		02.1%
エ	成果	受講者満足度	<b>^</b>	%	目標	98.0	98.0	98.0	88.6%
	风未	文碑白꼐足反	ı	70	実績	未開催	86.8		00.0%
才					目標				
/]					実績				
カ					目標				
71					実績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0		
事		受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	0	879	831	879		
費		合計(	(A)	0	879	831	879	879	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	528	922	916	1,320		
		トータルコスト( <i>A</i>	()+(B)	528	1,801	1,747	2,199		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.07	0.12	0.12	0.17		

# (4)環境変化·住民意見等

学校週5日制の完全実施により「子どもの居場所リリーフ」が平成19年7月場所づくりを設定するため、平成14年度より開始された。 ・ 地域社会の変容等により子ども会等の育成会活動に支障が出てきている。 ・ 小中学校で土曜日に授業やフェスタが開催されるようになってきたため、長期講座企画が難しくなってきている。

2	分析	f·検証	(Ch	<b>HECK</b>	()									
		評価の	)視,	Į.			項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
	上位	施策へ	の貢	献度	[	<b>夕貢献</b> 原	度高い		この事業の成果と上位施策の成果は同一であり、この事業の成果が向					
		事務事業の成果が上位施策の 目前す姿の実現に直結している				貢献原	ぎふつう		上することは、上位施策の成果が向上することになる。					
	目指す姿の実現に直結している か)				່ ີ	貢献度	复低い		]					
妥	意図の適切性					√ 妥当で	である		総合計画の町が取り組むべきことで「子どもの健全育成を推進する」と	]				
当	(総合	計画、町町	その二	ーズ、法	令 [		分余地が	ある	しているため。	3				
性	寺にX か)	付して、意	当か 追	切でめ	]		分余地が	多い	]					
	自治	体関与	の必	要性	[	√妥当で	である		条例により、生涯学習館において生涯学習を推進する事業を行うことと					
	(自治	体が主体	で取約	むべき	<b>\$</b> [		分余地が	ある	なっているため。					
	(自治体が主体で取組むべき事業が、住民参画の余地はないか)				か) [		)余地が	多い	]					
	成果	の向上	余地		[	<b>ヹ</b> 期待す	る成果	が得られている	長期講座の期間や回数等を見直す、(例:同じ講座を前半と後半の2回					
	(期待する成果を得られたか、今					成果の	)向上余	(地がややある	<b> </b> 行うなど)ることで、より多くの子どもが受講できることが期待できる。					
	後期待する成果をあげる余地が あるか)			3/3	成果の	)向上余	注地が多い	]						
有	対象	の適切	性		[	✓ 適切で	である		ジュニア講座の受講対象は、小学校児童、中学校生徒であるので適切で	1				
効		を達成す				改善の	分余地が	ややある	ある。	2				
性	対象設定が最も有効か、他に有 効な対象設定はないか)			<sup>19</sup> [	□改善の余地が多い									
	手段	の適切	性		[	適切で	である		条例により、生涯学習を推進する講座を開設することとなっており、他 					
		を達成す が最も有効				☑改善の余地がややある			一に有効な手段はない。					
		か取む何% はないか)	יעעני, 11	出に有効	ر [	]改善の	)余地が	多い						
	業務	の効率	化		[	<b>夕</b> 効率的	りである		関与職員等も最小限で行っているため適切である。					
	(業務	手順、関与	<b>子職員</b>	人数にこ	) I J	□改善の余地がややある								
	て見画	直しの余地	はなり	ハか)		□改善の余地が多い								
効	投入	、コストの	D適t	刀性	[	☑適切で	である		講座開催に必要な最小限の費用で行っているため適切である。					
率		するコスト		正か、削	減 [	]改善の	つ余地が	ややある		3				
1		也はないか	-		[	]改善の	つ余地が	多い						
	財源	確保の	適切	性	[	√適切で	である		国や県等の補助金等はないため適切である。					
		者負担は		、国、県	等 [	改善の	分余地が	ややある						
	の補助	助等はない	(ימי			改善の	分余地が							
						<del>と当性</del>			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)					
			/	0点	1点	( 2点	3点	なるべく多く(	の子どもたちが受講できるよう、長期講座の開催日の設定等課題もあるた らいの中期の講座を検討したり、また夏休みや春休みに行っている単発講座	か、				
		いずれ	か0点	d	С	С	С	ついて回数を	がの中期の講座を検討しため、また夏杯ので各杯のに1丁プでいる半光講覧 増やす等工夫する必要がある。	£IC				
,	1	有												
分		かずれ:	か1点	С	С	С	С							
17	1 173	± ・ 合計	4点	C	С	b	b							
杉	<b>À</b>	劝				+-								
訂	L dy	<sup>軽</sup> 合計	5点	С	b	b	а							
新		合計	6点	С	b	а	а							
		а		業務ある	の内	容は適	切で							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	) D   () (	01101	1/ L.	ו ווויכל	人吐巾口	/\ C (	ことにひり上皮以降の外にという。
			-	コストの	D方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも終	辪	